



HOPEES
希望の声届けます

菅野浩平さん (上飯種)
紗織さんと風雅くん

村が福島市で再開した乳幼児健診に親子の姿。「子どもが生まれてからは、子ども中心の生活になりました」と話す浩平さんが見つける先には、妻の紗織さんと息子の風雅くん。「避難先での子育てには不安もありますけど、丈夫で健康に育って欲しいですね。これから保育所や幼稚園で、集団生活にも慣れさせていきたいです」。両親の愛情をたっぷり受けてすくすく育っている風雅くんのお気に入り、アニメの音楽を聞くこと。風雅くんが名前の通り、優雅に歩んでいくことを願っています。

つくってべよう



中学校卒業式で配られました♪

「顆粒大豆入りクッキー」

- (材料 (80個分))
- ・粉砂糖 …………… 35g
 - ・マーガリン …… 100g
 - ・顆粒大豆 …………… 60g
 - ・薄力粉 …………… 150g
 - ・ベーキングパウダー … 小さじ1/2

- (作り方)
- ①ボールにマーガリン・粉砂糖を入れて、ふわふわになるまですりあわせる。
 - ②薄力粉・ベーキングパウダーをふるう。
 - ③①と②を一緒に入れて、よくこねる。
 - ④丸めて伸ばして、オーブンレンジ160℃で30分焼く
※オーブンレンジによって時間を調整してください。

調理のポイント
●顆粒大豆が入ることで、食感が良くなります。

協力：飯館村食を考える会

ブロッコリー試験栽培結果のお知らせ

県農業総合センターでは、平成25年度から村内の除染完了農地で、様々な野菜の試験栽培を行っています。平成26年度は、二枚橋の除染(表土剥ぎ取り+客土)後農地で、震災前の生産性が維持できるかをテーマに、ブロッコリーの試験栽培を行いましたので、結果をお知らせします。

1、土壌について

試験圃場の客土5cmを含む表層土は、栽培にあまり適していない土でしたので、比較的肥沃な下層土(元の土)と、表層土を、プラウ耕、ロータリー耕により丁寧に耕起し、さらに不足成分を土壌改良資材と堆肥で補いました。(表1~2)

また、放射性セシウムの吸収抑制対策として、土壌中の交換性加里含量を40mg/100g以上に施肥量を調整しました。

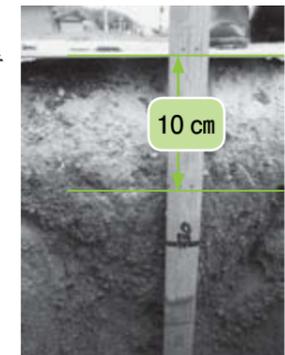
表1 土壌分析結果

状態		PH 値	CEC meq/100g	加里 mg/100g	放射性セシウム Bq/kg
耕起前	表層土	6.1	2.9	20	50
	下層土	6.8	11.3	82	720
2回耕起後	8月時	6.4	9.0	52	540
福島県土壌改良基準		6.0~6.5	10.0以上	※1	—

(※1 苦土と加里の当量比が2以上)

表2 土壌改良と施肥の使用資材量

使用目的	資材名	施用量 kg/反	窒素	リン酸	加里
土壌改良	堆肥	2,000	10	12	14
		4,000	20	24	28
施肥	LPコート	40	17		
施肥	過リン酸石灰	100		18	
施肥	硫酸加里	40			20



土壌調査の様子



土壌改良の様子(散布作業)

2、栽培結果について

9月1日に植えたブロッコリー(苗は定植1週間前から0.3%食塩水で灌水処理)は、10月20日頃に花蕾が付き始め、11月12日から収穫を開始しました。

収穫したブロッコリーの放射性セシウム濃度は、基準値(※)100Bq/kgを大幅に下回り、収量は県の目標(1,000kg/反)を、収穫個数はJ A そうま飯館ブロッコリー生産部会の平成23年度目標をそれぞれ上回りました。

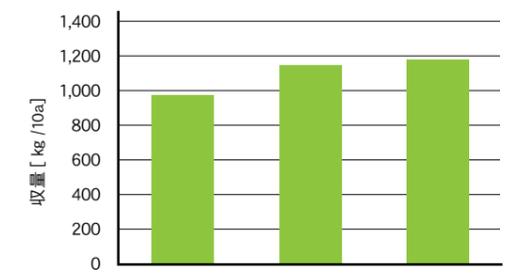
このことから、除染後農地において営農再開する場合、**適正に耕起、土壌改良を実施すれば栽培開始初年度から安全かつ良好な生産性を得られることが分かりました。**

(※基準値 「国が定める食品中の放射性物質の基準値」のこと)

なお、その他の試験研究を含め、詳細な結果は、農業総合センターホームページをご覧ください。
http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/top_kenkyuseika.htm



ブロッコリーの生育状況



ブロッコリーの収量

こころのしげけっと

一笑一若 一怒一老

先日、新聞を読んでいたらおもろい言葉に出会いました。
「一笑一若、一怒一老」という言葉です。
決して中国古来の格言でもなくある方の思いつきからの造語だそうです。つまり一回笑えば一歳若返り、一回怒れば一歳年をとるということを端的に表しただけで、大変分かりやすく納得納得と「うん」とうなづいてしまいました。

「笑」と「うん」と、「怒」と「うん」と、これは人間の持つ基本的な感情そのものです。この相反する動きを体験しない人はいないと言つてよいであります。日本は昔から「笑門には福来たる」という言葉がありますし、「笑い講」なる笑いの神事を実施している地域もあるとかテレビで見たり聞いたりします。笑いがいかに人に素晴らしい効果をもたらすかは多くの方に語られ、又証明もされてきていることです。

一方、「怒る」の方はどうでしょう。近頃、部下に対し怒れる上司がいなくなつたという話をよく聞きます。怒らなければならぬ時には怒る必要は大ありですが、どちらかというところでも常に怒る癖がついているというものは、どうもいたらないし、本人にとってもマイナスのような気がします。

聞くところによると人は怒つてばかりいると、脳にストレスがたまり「アドレナリン」とかのホルモンが大量に分泌して、結局脳のオーバーワークとなり老化を早めてしまつていくのだそうです。心が痛めば身体も痛みやすくなります。怒るより笑つ方を多くしていくと、ずっと体のためにもよく、若さを保つていけるという理論づけです。

原発事故による避難生活の中で、笑つなごといふことは、なかなか出来ることではありませんが、仮設住宅などに行くとき常に笑いを巻き起こしているところがあります。実に前向きに頑張つてもらつてる、偉いもんだな、ありがたいなと思つてあります。

私も、この「一笑一若 一怒一老」の言葉から少しでも笑いの効用を多くして、若さを保たなければ??と反省したところです。

平成27年3月13日 飯館村長 菅野 典雄